



畑の面積 : 0,63 ha

Age of the vines : 40 years old

Average annual Production : 4 000 bottles

Grape variety : Pinot Noir

Localisation

この畑は、グロ家が所有しているリシュブールの区画の北側に隣接している。「ブリュレ」とは「焼けた」という意味で、土壌の水捌けの良さが畑の名前に由来しているようだ。おそらく、夏の間表土が乾燥して、そこに生えていた植物が短期間のうちに焼けたように枯れたのだろう。小石を非常に多く含む表土は30~35cm程度の深さで、下層土は、プレモー村でとれる石と同タイプの硬い石灰である。

このワインには素晴らしいミネラル感があり、リシュブールと同系列の印象を与える。もっとも、リシュブールとこの畑を分けているのは幅3mほどの一本の道に過ぎない。しかし、表土がリシュブールより浅いため、タンニンがやさしく、比較的早く飲み始めることができる。

2013年はまたしてもブルゴーニュのヴィンニュロンたちに手厳しい試練を与える年となりました。醸造所に健康なブドウを持ち帰るためには、シーズン中、ベト病とウドンコ病との熾烈な戦いを強いられたのです。

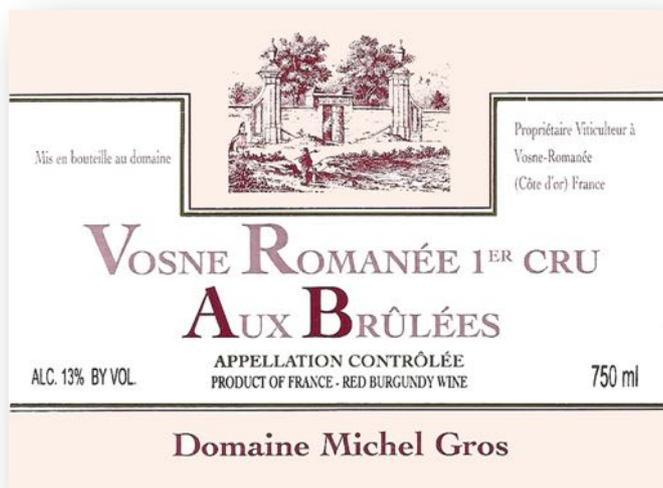
5月という季節を迎えても月間通じて寒々とした雨に見舞われ、そのことが大きく起因して収穫が遅れました。私たちのドメーヌでは10月6日にヴォーヌ・ロマネの畑からブドウを摘み始め、17日にオート・コートで終わりました。この年より遅い収穫年といえば、1978年まで記憶を遡らなければなりません。

後期の天候の崩れが原因で花振るいが多く見られ、殆ど全ての房がミルランダージュとなって小さな粒を纏いました。そのため、平年と比べ収量は30~40パーセント落ち込みました。

しかし、このミルランダージュこそがヴィンテージを救うことになったのです。

7月に暑い日が差した以外はパツとしなかった夏の不順な天候下でも、負担の少ない小ぶりのブドウ房はパーフェクトに熟していってくれました。

粒が小さく隙間があるミルランダージュの房でなければ、収穫前に続いた数日の雷雨でボトリティス菌が蔓延し、やっとな目の前にした収穫物が壊滅していたかもしれません。



そして、果汁の少ないミルランダージュだからこそ実現した濃い色。結実不良により種が無かったり種のサイズが小さかったりすることが幸いした、タンニンの突出しないバランスがとれた自然の凝縮。

成熟が遅れ、比較的冷涼な気象状況のもとでブドウが熟成の最終段階を遂げた為、誕生したワインは濃いフルーツのアロマを丸ごとフレッシュに蓄え、夫々のテロワールの個性をくっきりと描いています。

酸のレベルが高いことはワインの長熟性を示し、一方、低いpHで証明されたこの高い酸味は、タンニンがすでに溶け込んでいるリッチなテクスチャに抱擁され、テイasting上ではさほど目立たないのです。

結果として、2013年のワインはすでに誘惑的な魅力を呈し、ハーモニー、バランス、鮮烈な強さと緻密なアロマを持ち合わせています。ポテンシャルが高く、言うなれば1993年に類似する特徴があり、1993年といえど今日飲んでもなお素晴らしい有望なヴィンテージなのです。

プレスレビュー

Jancis Robinson, January 12, 2015

17 / 20. Violet fragrance and expressive red cherry fruit. Chewy tannins, intense fruit and a bitter brightness to finish. Rounded, aromatic, dry and succulent. (RH)

Sarah Marsh, Winter 2014, The Burgundy Briefing N° 16

Very spicy high toned aroma. Quite gassy. Just finishing its MLF...and some malic. It is aromatic and has good tension. The tannins are ripe...plenty of them and the fruit is dark red and fresh. It has precision and keen edges. A more compact and layered palate and the finish is decisive. Score 18.25. They always make the harvest 3 days later and this cuvee always has the high level of acidity, especially in this vintage.

Bill Nanson, December 03, 2014

Depth and concentrated dark fruit - a sleek not fat aromatic. Here is a beautiful palate that's lithe, concentrated and dark fruited with very fine mid-palate intensity and only faintly tannic. Excellent! The last drops in the glass with a fine floral lift too.

